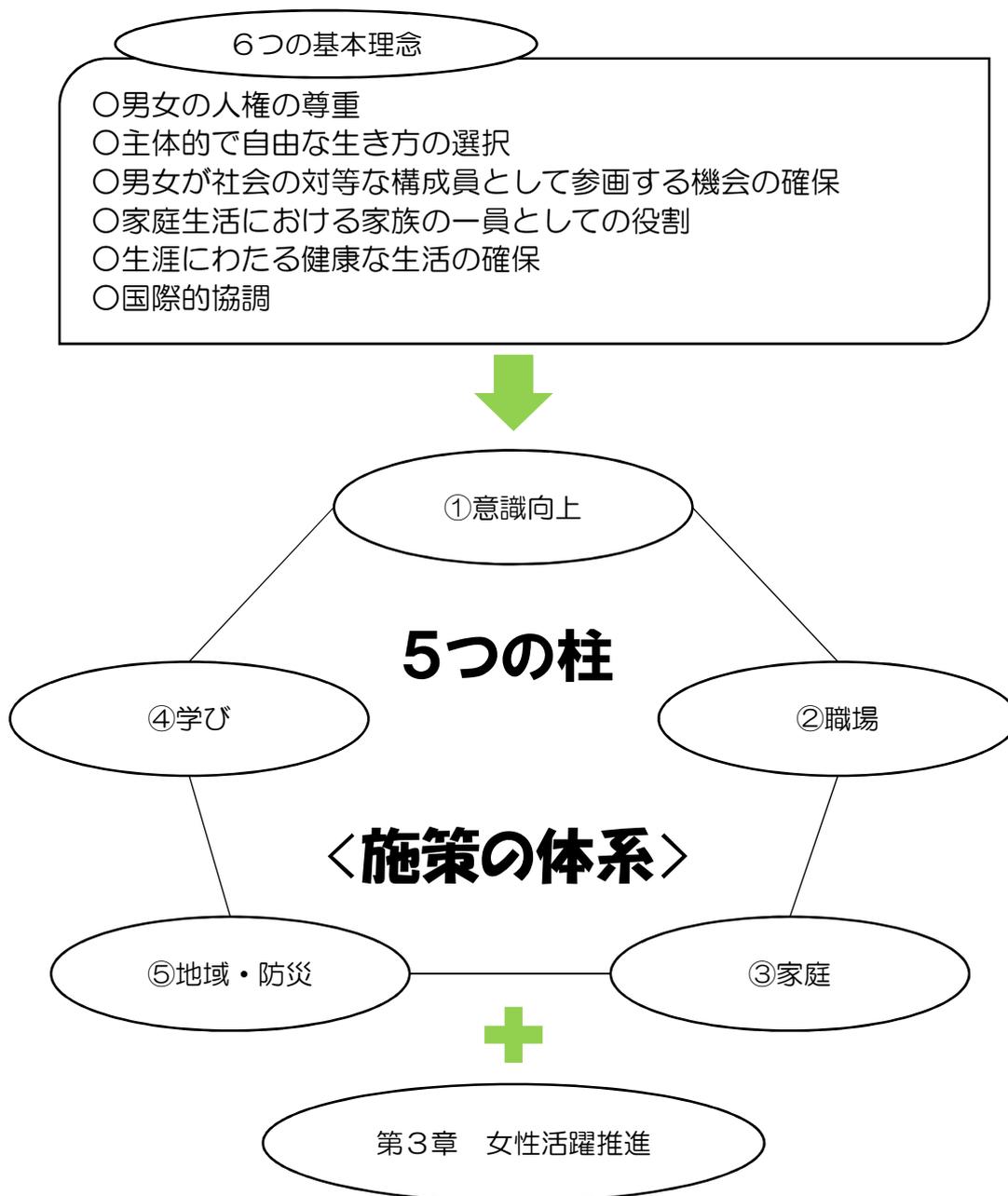
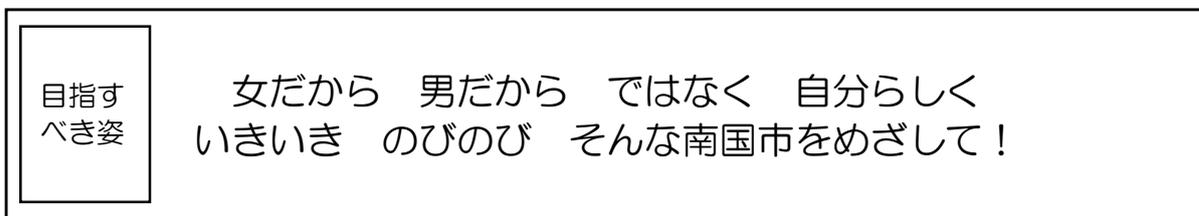


第2章 施策・事業の展開

【1】施策の体系

市民意識調査の結果を踏まえ、あらゆる分野への女性の参画を推進し、全ての市民が安心して、仕事と家庭、地域生活を両立していけるよう、市、関係機関、市民が協力・連携しながら支援するシステムづくりを目指していきます。



【2】5つの柱①意識向上

法律や制度を見直すことも必要だと思うが、結局は個人個人の意識の変化が大切だと思う。（男性60代）

市民の声

男性女性ともに意識改革が必要。（女性50代）

男性だからとか女性だからという考えをなくし、家庭生活や職場などでも、お互いが一人の人間として尊重し合えたらいいなと思います。そのためには、周りの人や環境も大切ですが、まず自分自身の考えや行動も改めていくことが一番の近道だと思いました。（女性30代）



市の取組

- 南国市が規範となるよう男女共同参画社会の推進に取り組みます。
- あらゆる分野において男女共同参画に関する啓発に取り組みます。
- 女性は生涯を通じて妊娠、出産という男性とは異なる健康上の節目に直面することに配慮し、健康の保持・増進を支援するよう取り組みます。
- 女性を取り巻く問題は世界共通の課題であることから、男女共同参画の国際的な視点を取り入れた魅力あふれるまちづくりを推進します。

施策・事業名	取組内容	主な担当課
男女共同参画社会実現に向けた意識啓発の推進	市民への男女共同参画に関する啓発・広報 意思決定の場への女性の参画推進に関する啓発 地域・職場における男女共同参画に関する研修の実施	生涯学習課 総務課
市職員の意識向上	市民のリーダーとなるため、市職員への男女共同参画に関する研修の実施	生涯学習課 総務課
女性の健康問題についての意識啓発	健康相談の実施 検診の充実及び啓発・広報	保健福祉センター
国際交流・協力の促進	世界に開かれた社会づくり 世界の女性を取り巻く現状や課題などの情報提供	企画課 生涯学習課

● 数値目標

項目	2010年	2020年	2030年目標値
「社会全体」で男女が平等と感じている割合（市民意識調査）	19.5%	16.5%	30.0% 以上

【3】5つの柱②職場

市民の声

女性は社会的地位、昇進や昇給等（セクハラ）まだまだ、不利益な社会だと思います。政治や自治体等などが民間の会社や組織に啓発していく事が将来の男女参画につながっていくのではないのでしょうか？妻は勤続20年ですが、同期の男性社員は課長や部長に昇格しています。妻と同期の女性社員は誰ひとりとして役職についていません。（一部抜粋）（男性50代）

男性の育休取得も、官公庁だけでなく、民間も広げていく必要があると強く思いました。（一部抜粋）（女性20代）

女性はどうしても「出産」を経験する場合がある為、仕事をしていても、一時期ストップする。その時に次のキャリアを、ない場合1から準備しなければならない。その苦勞は、小さな子どもを育児しながらの場合想像以上に大変。もう少し行政の方で再雇用推進などの仕組みを充実してほしい。（一部抜粋）（女性30代）

市の取組

- 職場における男女平等や理解促進のための啓発活動等を推進し、女性が結婚・妊娠しても働き続けられる環境整備に努めます。
- 性別に関わらず、必要な人が育休取得できるよう普及啓発に努めます。
- 相談窓口の紹介や職業能力の開発をはじめ、就業を支援するとともに、再就職を希望する人に対する支援を充実します。
- セクシュアル・ハラスメントなどの嫌がらせを「認めない、認めさせない」社会を形成していくために、ハラスメント防止のための意識づくりに努めます。

施策・事業名	取組内容	主な担当課
職場における男女平等の推進	関係機関と連携・協力し普及啓発 企業への男女共同参画に関する研修の実施	商工観光課 生涯学習課
働きやすい職場環境の整備	ハラスメント防止対策啓発・広報 男性の育休取得啓発・広報	生涯学習課 総務課
女性の起業等への支援	市の創業支援の周知 関係機関と連携・協力し普及啓発	商工観光課

● 数値目標

項目	2010年	2020年	2030年目標値
「職場生活」で男女が平等と感じている割合（市民意識調査）	23.7%	31.6%	45.0% 以上

【4】5つの柱③家庭

市民の声

DVにしても、世間体やその状態が普通だと我慢したりマヒしているかもしれないし、自ら発信する勇気がなかったり、こちらから手を差し伸べる事、気付いてあげる事が重要なかもしれません。（女性40代）

共働きの場合、特に女性の育児・家事の負担は大きいと感じる。料理をしない男性が身近にとっても多く、子どもの頃から家事に親しむ機会が必要だと思う。女性の育児負担を減らすために、子どもの預かりサービスを充実してほしいと感じる。（一部抜粋）（女性20代）

私の家では、夫が朝食をつくりますが、それを友人や職場で話すと、夫を賞賛したり、うらやましがられたりします。男性と共に女性の意識も変え、社会的、政治的にも女性が活躍できる就業、育児の支援の制度や、男性の働き方についても、会社の制度や意識共に変えていかねばならないと思います。（一部抜粋）（女性40代）

市の取組

- ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の考え方の普及・啓発に努めるとともに、子育て支援施策の充実を図ります。
- 固定的な性別役割分担の意識を生じさせないよう、意識啓発に取り組みます。
- DV被害者等に対する支援制度の紹介に努め、適切な窓口の周知に取り組みます。

施策・事業名	取組内容	主な担当課
子育て支援サービスの充実	低年齢児保育、延長保育などの保育サービスの充実 子育てについての相談・援助の充実	子育て支援課 保健福祉センター
固定的な性別役割分担意識の解消および男性の家事・育児・介護への参画促進	子育て世代の男性への家事・育児への参加啓発 ワーク・ライフ・バランスの考え方の普及・啓発	保健福祉センター 生涯学習課
DV被害者等に対する相談・支援・自立体制の充実	広報や市の催し等を活用した相談窓口の周知 DV被害根絶のための啓発 自立に向けた制度の周知・手続きの支援	総務課 生涯学習課 各所管課

● 数値目標

項目	2010年	2020年	2030年目標値
「家庭生活」で男女が平等と感じている割合（市民意識調査）	29.3%	34.0%	40.0% 以上

【5】5つの柱④学び

先日、小学校PTA研修で「多様な性について」に参加しました。私の認識不足を痛感するとともに、いくつになっても学習する意欲は必要だと思いました。是非こういう機会を増やしてほしいですね。（女性60代）

市民の声

自身が理想的に考える社会となるには、厳しい現実がまだまだありますが、子どもの時からの教育や、社会に出てからも研修等いろいろな形で、男女共同参画社会について学べる環境を作っていたらと思います。（男性30代）

先日NHKのラジオ番組で子ども達（中高校生対象）の性の悩み相談を聞きました。正しい性知識を真面目に真剣に取り組むのが絶対的だと確信しました。被害にあってからでは遅すぎる。我々大人世代が、彼等を救ってあげなければならないと強く思います。（一部抜粋）（女性70代）



市の取組

- 性別による身体的特徴の違いについて理解を深めることができるよう、学校教育の段階から、適切な知識の啓発に取り組みます。
- 性別にとらわれることなく、自由に将来を選択できるようキャリア教育を推進していきます。
- 多様性を認め合う社会の実現を目指し、教育現場から意識を高め、家庭地域へと派生できるよう、啓発に取り組みます。
- すべての市民が健康に暮らしていくために、健康の保持・増進に関する情報の提供や、適切な保健・医療サービスを推進します。

施策・事業名	取組内容	主な担当課
学びの場における男女共同参画教育の推進	キャリア教育の推進 学校教育における男女共同参画の啓発・広報	学校教育課 生涯学習課
学びの場における性の多様性に対する考え方の促進	学校保健と連携し、性に関する適切な知識の普及 性の多様性に関する理解の促進	学校教育課 生涯学習課
健康教育・健診（検診）、相談支援等の充実	健康づくりについての知識普及	保健福祉センター

● 数値目標

項目	2010年	2020年	2030年目標値
「学校教育」で男女が平等と感じている割合（市民意識調査）	64.8%	67.3%	75.0% 以上

【6】5つの柱⑤地域・防災

男女共同参画がもっと地域社会に貢献できる様な世の中になりたいですね。（一部抜粋）（男性30代）

数年前に他県から高知県に引っ越ししてきました。主人の仕事の関係で、複数の県に住んだことがありますが、高知県では、他県出身者を受け入れてもらえないと感じます。男女共同参画社会を実現するためには、「他者を受け入れる」ことが大切なのではないのでしょうか。（一部抜粋）（女性40代）

市民の声

定年後地域社会の役を毎年やらせてもらっていますが、女性にやってほしいといってもみんな逃げる！能あるタカはツメをかくす！やなと思う。能あるタカはツメを研いで欲しいけど…。（一部抜粋）（男性70代）

市の取組

- 女性の地域活動への参画を促進するために、地域レベルでの啓発や学習機会の提供に努めます。
- ジェンダーの視点を取り入れた避難所運営など、地域防災・災害対策において、男女共同参画の視点を取り入れた活動に取り組みます。
- 介護者等の負担軽減が図れるよう、また、障害者が地域で安心して暮らせるよう、関係機関と連携した支援体制の充実に努めます。

施策・事業名	取組内容	主な担当課
地域における男女共同参画の推進	クオータ制の考え方の普及・啓発 自主防災活動にジェンダーの視点を反映	生涯学習課 危機管理課
地域における制度や慣習の見直し	防災訓練等、地域の活動における固定的な性別役割分担の解消のための啓発	生涯学習課 危機管理課
高齢者等介護を取り巻く環境整備	地域で安全安心に暮らせるような支援体制の充実	長寿支援課
障害者の自立支援	地域で安全安心に暮らせるような支援体制の充実	福祉事務所

● 数値目標

項目	2010年	2020年	2030年目標値
「地域活動の場」で男女が平等と感じている割合（市民意識調査）	30.4%	38.1%	50.0% 以上